令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	70

担当課	経営デザイン課	担当課長	中原　三千代
事業担当者	山崎　千晴	一次評価者	藤野　孝一
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	景観形成助成事業		
予算科目	2　款　1　項　15　目		
予算事業名	魅力づくり推進費		
総合計画での位置づけ（施策名）	自主的な住民活動への支援／多彩な町民交流の拡大		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	久山町景観づくり助成金交付要綱		
事業の対象	全住民		
事業の目的	花と緑のあふれる地域の景観を作り、心身ともに安らぎのある地域社会を作る。		
実施期間　開始年度	平成　23　年度から		
実施期間　終了年度	令和　　年度まで		
事業の内容	・景観づくり助成事業：町内に草花等を植える景観づくり活動を行う住民等の団体に対し、活動費用の一部を助成する。 ・花植え講習会：活動従事者の技術や知識の向上や活動団体間のネットワークづくり、新規従事者の増加を図るために講習会を実施する。		

目的達成の指標（成果指標）

景観づくり助成金をうけて、活動に従事される方の人数

区分 年度	単位	2　年度	3　年度	4　年度	5年度
目標	人	220	220	220	220
実績	人	352	314		

指標設定の考え方	活動団体数が増えていくことによって、組織単位での自主的なまちづくりへの関わりが広がっていくと考えるため。また、活動の広がりが町全体の景観向上につながるため。
計画時の懸案事項	・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、現状の団体の活動をいかに維持・継続させていくか。 ・花植え活動に従事する既存の団体同士のネットワークの希薄さ、新規参入団体の減少。
計画時の懸案事項への対応	・現状の団体の活動の様子をお伺いしながら、相談等に対応する。 ・今後の状況を見ながら、講習会や交流会の実施を検討する必要がある。

PLAN（計画）

No.2

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　203 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.06	0.13	0.13	0.13
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費		0	0	0
	人件費（①×②－③）	459	933	1,026	1,026
事業費	直接事業費	754	948	1268	1268
	人件費	459	933	1,026	1,026
	合計	1,213	1,881	2,294	2,294
財源内訳	国庫支出金	0			
	県支出金	0			
	地方債	0			
	その他	0	20		
	一般財源	1,213	1,861	2,294	2,294
	合計	1,213	1,881	2,294	2,294

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	754	948	1,268	1,268	1,268
実績	754	942			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
助成金交付	団体	16	16	16	18
		15	18		
広報紙での事業紹介	回	1	1	8	8
		1	7		
花植え講習会の実施	回	1	1	4	4
		0	1		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　201 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.06	0.13	0.13	0.13
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	459	933	912	1,026
事業費	直接事業費	754	948	942	1268
	人件費	459	933	912	1,026
	合計	1,213	1,881	1,854	2,294
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	20	19	0
	一般財源	1,213	1,861	1,835	2,294
	合計	1,213	1,881	1,854	2,294

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	山崎　千晴

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	C
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	4	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

景観づくり活動は、老若男女問わず取り組むことができ、町内にお住まいの方やお勤めの方などが、自主的にまちづくりに関わるきっかけとなる取り組みである。また、町全体の景観の向上という点から見てもその必要性、有効性、効率性はあると考える。公平性、透明性という点では、事業について広報紙やホームページを活用し、広報しており、公平性・透明性がある事業と言える。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

申請団体数は、昨年度に比べ1増であり、引き続き、新規参入団体をいかに募るかが課題である。今年度は、活動従事者の技術や知識の向上や活動団体間のネットワークづくりを図るとともに、花植えに取り組むきっかけづくりを行うため、レスポアール久山において、花植え講習会を実施した。参加者からは、また参加したいという声が多く聞かれ、来年度も継続して実施する予定である。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	藤野　孝一

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	3	C
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	3	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	3	
2. 町が実施する必要があるか？		
□ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	C
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	3	C
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	C
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	3	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	3	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	C
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	3	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

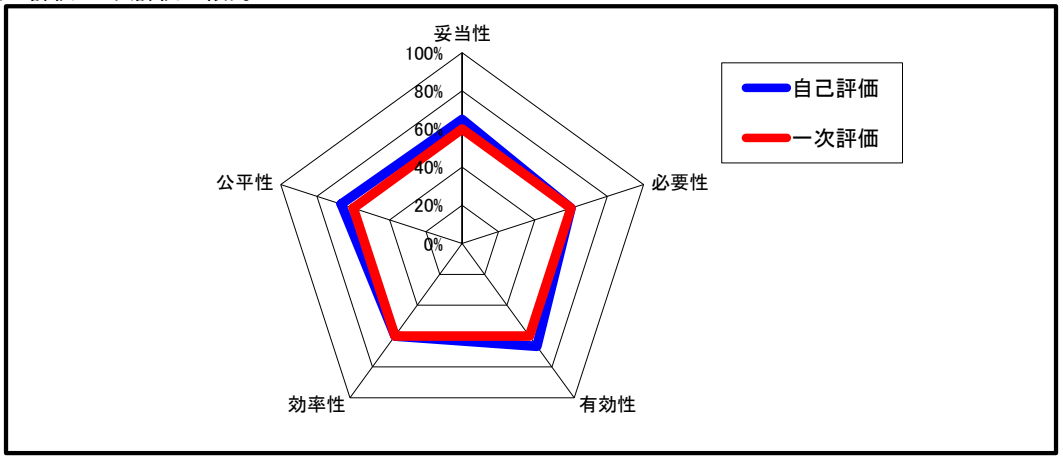
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

花植えは、年齢を問わず参加できる活動であり、地域コミュニティの交流の場として活用されていると思います。今後はより多くの方が活動に関心を持たれるよう、今以上に広報に工夫をしたほうが良いと思います。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	中原　三千代

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

関わりやすいまちづくり活動であるとともに地域コミュティの交流の場としての役割も大きいと感じるので、関心を持っていただけるよう広報に工夫が必要だと思う。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）